

↓ 手塚治虫の壁画 高田馬場駅(新宿区高田馬場1丁目) P.16 B-2



人気キャラクターと新宿の街が一緒に

早稲田通りのJRと西武新宿線ガード下に設置された手塚作品キャラクターの壁画。鉄腕アトム、ジャングル大帝、ピッグX...に混じって、よく見ると新宿の名所や偉人も描かれている。

ぜひ、ごらんください

手塚治虫の壁画で気分を高めたらマンガ図書館に行こう!

ロン。60年余り続くこの店、吹きぬけ式の画廊のような建物自体、アートなムードが漂っている。ちなみに「ロン」の意は麻雀ではなく、LAWN(芝生)が由来だ。



ネルドリップで淹れたコーヒーと、厚めの玉子サンドイッチ

← 最後は四谷の喫茶店へ

珈琲・ロン

1954年、現在の場所の対面で開店した老舗喫茶。画廊あるいは教会を思わせるモダンなコンクリートの建物が、上智大学やキリスト教関係の書店が並ぶ四ツ谷駅前の街並みになじんでいる。

おもちゃ美術館で手に入れたぬくもりあるお土産



けん玉人形 1,512円
投げこま 310円

新宿区四谷1-2 ロンビル1F-2F
☎03-3341-1091
🕒7:30~22:00
📅土・日・祝 P.12 D-3

へー、こんなおもちゃあったなあ



懐かしさに夢中になるおもちゃの館

“触って遊べる”をコンセプトに作られた、体験型のミュージアム。マニアックなアンティーク玩具も展示されているが、昔の家庭科教室を使って、おもちゃ作りの講座なども開かれている。



↑

東京おもちゃ美術館

新宿区四谷4-20 ☎03-5367-9601
🕒10:00~16:00(入場は15:30まで)
👤子供 500円 ※2歳以下は無料
大人(中学生以上) 700円
ペア券(子供と大人各1名のペア券) 1,000円
📅木、2月と9月に特別休館日/年末年始 P.12 B-2



今回も区内にあるユニークなミュージアムを訪ねてみよう。まずは四谷4丁目の「東京おもちゃ美術館」。ここはその建物からして面白い。廃校になった四谷第4小学校(昭和10年建築の趣あるコンクリート造りの校舎を再利用しているのだ。小さな子供を対象にした知育玩具多くは木製)を中心に、大人が懐かしい回想に浸れるアンティークの展示までジャンルは幅広い。教室をそのまま使っているの、なんとなく文化祭の展示を眺めているような気分にもなる。眺めるばかりでなく、実際に体験できるゲームコーナーもある。フランス製の手動式のサッカーゲームに思わず熱中してしまっ。

早稲田の鶴巻町には「現代マンガ図書館」というのがある。漫画コレクターの内記松夫氏の蔵書をもとにした漫画専門の図書館。入館した瞬間から、マニアックな空気に包まれた。よく閲覧される作品の表紙が壁



マンガファン垂涎!



店内には手塚治虫のサインが飾られている

↓ 明治大学現代マンガ図書館 <内記コレクション>



新宿区早稲田鶴巻町565 ビルデンスナイキ2F ☎03-3203-6523
🕒12:00~19:00 📅一般 300円 中学生以下 200円 閲覧料 1回1冊につき100円
📅火・金/年末年始 P.16 D-2

コアなマンガで子供時代にタイムスリップ

マンガ関係の蔵書は約18万点に及ぶ。当日は1960年代の古い作品を閲覧したが、保存状態がとても良いのにも感心した。ただし、70年以前の本は会員(年会費6,000円)にならないと閲覧できない。

アートな気分でひとときのお茶を

ART & Cafe Vol.2

泉麻人さんとめぐるおもちゃとマンガのアート&カフェ

四谷→高田馬場→早稲田

独自の切り口で東京の街を語る泉麻人さんと、新宿区のあちこちにあるアートな場所へ。散策のあとには、味のある喫茶店でほっとひと息つきましょ。第2回は、おもちゃとマンガをテーマにめぐります。



ASATO IZUMI

コラムニスト。1956年、新宿区中落合出身。週刊TVガイドの編集者などを経て独立。「青春の東京地図」「大東京23区散歩」などをはじめ東京を題材とした著書が多い。2010年、東京周辺の喫茶店を案内する「喫茶店ブルース」を刊行。

